

第8期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

※「介護保険事業(支援)計画の進捗管理の手引き(平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課)」の自己評価シートをもとに作成

第8期介護保険事業計画に記載の内容				R5年度(年度末実績)																																																		
区分	現状と課題	第8期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策																																																
①自立支援・介護予防・重度化防止	介護が必要となった要因を分析すると、脳血管障害、関節系の障害、認知症の割合が高く、若い頃からの生活習慣に起因すると想定されるものが多くなっている。	高齢者の集いの場の提供	<p>○介護予防活動実施箇所数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>介護予防活動実施箇所数 (月1回以上実施)</th> <th>H30年度</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>18</td> <td>19</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>8</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>22</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table>	介護予防活動実施箇所数 (月1回以上実施)	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値				18	19	20	実績値	8	16	17	17	22	22	<p>【週1回以上実施】 R4年度13箇所→R5年度13箇所 いきいき100歳体操や趣味活動、ボランティア活動の場など</p> <p>【月2回以上実施】 R4年度4箇所→R5年度4箇所 ゲートボールのつどいや趣味活動</p> <p>【月1回以上実施】 R4年度5箇所→R5年度5箇所 運動教室や趣味活動など</p>	◎	<p>介護予防活動実施箇所数は令和4年度と同数の22箇所です。目標の20箇所を上回っています。</p> <p>つどいの場は、健康づくりや介護予防、フレイル予防、地域の基盤づくりなど様々な効果が期待されることから、今後は、つどいの場への参加者からの声かけや、周知、活動内容の広報を強化し、現在活動しているつどいの場の維持と自治会単位でのつどいの場の設置を目指す。</p>																											
介護予防活動実施箇所数 (月1回以上実施)	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度																																																
目標値				18	19	20																																																
実績値	8	16	17	17	22	22																																																
①自立支援・介護予防・重度化防止	住み慣れた地域でいきいきとした生活を送るため、「自分の健康は自分でつくる」ことを意識し、自立した日常生活を営むことができるようになるため、要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止に取り組む必要がある。	地域共生のむらづくり(地域と連携による生活支援)	<p>○移動支援目標及び実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>(ボランティア登録者数の内) 移動支援に従事している人数</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>13</td> <td>15</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>○移動サービス実施件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>397</td> <td>504</td> <td>431</td> </tr> </tbody> </table> <p>○農業支援目標及び実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>(ボランティア登録者数の内) 農業支援に従事している人数</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>23</td> <td>21</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table> <p>○農作業の実施件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>44</td> <td>22</td> <td>34</td> </tr> </tbody> </table>	(ボランティア登録者数の内) 移動支援に従事している人数	R3年度	R4年度	R5年度	目標値	13	15	17	実績値	11	12	15		R3年度	R4年度	R5年度	目標値	100	100	100	実績値	397	504	431	(ボランティア登録者数の内) 農業支援に従事している人数	R3年度	R4年度	R5年度	目標値	10	12	14	実績値	23	21	24		R3年度	R4年度	R5年度	目標値	25	30	35	実績値	44	22	34	<p>ニーズ調査を行ったところ、社会参加活動に意欲のある高齢者が一定数いることが分かったため、生きがいづくりや健康づくり、介護予防へと繋がることを期待し、地域住民ボランティアによる空白地有償運送や援農支援を実施している。</p>	○	<p>移動支援の実施件数については、目標の約4倍の実績となっている。一方、農業支援については、目標値には届かなかったものの、達成率は97.1%となっている。</p> <p>移動支援に関して、現状でも対応できているものの、ボランティアドライバーの年齢上限を75歳としているところ、約4割が70歳以上であることから、負担軽減とサービス継続のため、関係団体等と連携し、新たな担い手を確保していく必要がある。</p> <p>マッチング等の運営に関しては、令和5年度から新たに就労的活動支援コーディネーターを配置しており、各支援事業においてスムーズな運営ができています。</p>
(ボランティア登録者数の内) 移動支援に従事している人数	R3年度	R4年度	R5年度																																																			
目標値	13	15	17																																																			
実績値	11	12	15																																																			
	R3年度	R4年度	R5年度																																																			
目標値	100	100	100																																																			
実績値	397	504	431																																																			
(ボランティア登録者数の内) 農業支援に従事している人数	R3年度	R4年度	R5年度																																																			
目標値	10	12	14																																																			
実績値	23	21	24																																																			
	R3年度	R4年度	R5年度																																																			
目標値	25	30	35																																																			
実績値	44	22	34																																																			

第8期介護保険事業計画に記載の内容				R5年度(年度末実績)		
区分	現状と課題	第8期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
②給付適正化	高齢化の進展に伴い、介護給付等に要する費用の増大が見込まれる。 介護給付等に要する費用の適正化を図るとともに、利用者本位の質の高い介護サービスが提供されるようにする必要がある。	要介護認定の適正な実施	認定調査員による認定調査結果や、居宅介護支援事業所等に委託している認定調査結果について、職員による確認(調査項目と特記事項の整合性等)を行う。	認定調査結果について、全件確認を行った。 更新 108件、新規 35件、区分変更 18件 合計 161件	◎	今後も全件確認を行い調査の整合性を図るとともに、点検結果をフィードバックし調査の精度を高めていく。
②給付適正化		ケアプランの点検	「自立支援・重度化防止」に資する適切なケアプランであるか等に着目した点検を行う。 青森県の「アドバイザー派遣事業」を活用し、多職種での点検を行う。 点検目標 R5 20件	住宅改修や特定福祉用具購入の審査時に、ケアプラン点検を行った。 ケアプラン点検数 5件(のべ月数 24か月分)	×	点検に要する時間及び人員の確保ができなかった。 青森県の「介護給付適正化事業に係るアドバイザー派遣事業」を活用し、効率的な点検体制を構築する。
②給付適正化		住宅改修等の点検	不適切又は不要な住宅改修及び特定福祉用具の利用がなされていないか点検を行う。このため、利用者の病状や症状を考慮したものとなっているか、職員による訪問調査及び書面による審査・点検を行う。	職員による訪問調査及び書類確認を行った。また、青森県の「住宅改修・福祉用具点検に関するアドバイザー派遣事業」を活用し、リハビリテーション専門職の助言や意見を得た。 住宅改修 7件、特定福祉用具 14件 リハビリテーション専門職の関与 4件	◎	引き続きリハビリテーション専門職と連携し、適正化を図っていく。
②給付適正化		医療情報との突合・縦覧点検	国民健康保険団体連合会から送付される帳票をもとに、点検・突合を実施し、請求内容の誤り等を早期に発見して適切な処置を行う。また、医療と介護の重複請求の有無を確認する。	疑義のある全件 縦覧点検での過誤調整 1件 医療突合での過誤調整 1件	◎	国民健康保険団体連合会の審査情報を基に、重複請求等を点検し、誤った請求を是正した。
②給付適正化		介護給付費通知	受給者に対し、介護給付費の額、利用したサービスの内容等を通知することで、適切なサービスの利用となるよう普及啓発を行う。	受給者へ年6回通知を行った。 R5.5月 176件 R5.7月 169件 R5.9月 171件 R5.11月 168件 R6.1月 163件 R6.3月 160件 合計 1,007件	◎	利用者にサービス実績を通知し、実際に利用したサービスとの整合性を確認してもらうことで、事業者による不正請求の防止及び過剰なサービスの抑制を図った。 令和6年度以降については、国による事業見直しにより、令和6年3月の通知をもって終了する。